

理事通信

2023年10月号

編集発行 / 西日本区事務局

『未来に灯そう希望の光り』

Let's illuminate the light of for the future

2023-2024 年度 西日本区理事 深谷 聡

理事通信 4号



去る8月にネパール カトマンズにてAYCのセミナーが開催されました。

総勢50名を超えるアジアからのユースが4泊5日寝食を共に交流をするプログラムでした。日本からは16名
その中で西日本区から3名のユースが参加をしました。熊本西クラブの推薦で中西海斗さん、熊本ジェーンズ推薦の金丸翔海さん、それと和歌山クラブ推薦の石井翔也さんです。西日本区からの3名は大活躍をされたと聞いております。沢山の賞もいただいたと伺い、本当に誇らしく思います。国際的な場で、自分の意見を述べ、討論をして交流をする。とても立派です。誇らしいです。

私は約40年前に名古屋YMCAからフィリピンワークキャンプに参加しました。日本からの参加者は15名程度で日本各地のYMCAから参加されました。フィリピンからは看護学校の学生で10名の参加でした。期間は1ヶ月でした。仕事はスイミングプールの建設とバスケットボールコートの整備をスコップとツルハシで行いました。とにかく暑かったです。水道が無く、朝、村民の方々と井戸端の交流がとても楽しい時間でした。水を汲み合い、慣れない英語で笑い声が絶え間なく聞こえてきました。生水が飲め無かったので喉が乾くと、その井戸水を煮沸して紅茶にして飲んで喉の渇きを潤しました。余りの暑さに耐えかねて椰子の木に登り、実をとってココナツ水を飲んだ味は今でも忘れる事ができません。団長(名古屋YMCA主事)はコレラで倒れ、ワーク復帰まで数日かかりました。自分達が如何に恵まれている環境で育っているか学ぶ事ができました。

そんな環境下でのワークキャンプでしたが、共に汗を流し、苦しかった思い出も忘れる事のできない思い出となりました。フィリピンを知る事が出来、友達を沢山作る事ができました。国、民族を超え同じ目的を持った仲間との友情は一生の宝に成ると思います。その思いを胸にワイズ&YMCAの国際ユースのプログラムが将来の世界平和実現の一助となる様 祈って病みません。

これからの時代を背負って行くユースメンバーと共にワイズメンとして、どの様に互いを認め合い、生きていくか。将来に向けて、ユースの為に光を灯して分かり易く楽しく活動に参加できる組織作りを目指して参りましょう。

2023-2024 年度 西日本区理事 深谷 聡

10月の

西日本区強調活動

ASF

YMCAの歴史を学び、使命を理解し、ワイズの意義を再考しましょう。
私たちはもっと仲良くなれる！

事業主題

『YMCAとワイズは一つの体、様々な talent を持つ人の集まり
違いを楽しみ、活かしましょう』

ワイズメンにとって YMCA への支援は、活動の大きな目的で有り、誇りと喜びであると信じます。180 年前に青少年の成長を願ってロンドンで誕生した YMCA は、世界 120 の国と地域に広まり、約 6500 万人以上が活動する世界最大規模の NGO（非営利組織）です。ワイズメンが、他のボランティア団体と一線を画している理由がここに有り、胸を張って活動しましょう。

ユース事業は YMCA の中心で活動する若者達への支援です。あなたの talent を青少年の成長に活かしてください。支援を受けた若者達は感動と感謝の気持ちを持った大人に成長し、この国を、世界を支える事でしょう。人を育てる喜びを味わいましょう。

2023-2024 年 西日本区 Y サ・ユース事業主任

吉田 由美

***各地のワイズが活動を行う上でお使いいただく Y サ・ユース事業資金の基準を記載します。**

- ①クラブ又は部と YMCA の協働プログラムへの支援
- ②日本 YMCA 同盟および各地 YMCA のプログラム、特に青年達が実施する
- ③国際 ASF への献金
- ④西日本区と日本 YMCA 同盟の YMCA サービス関連の協働プログラムへの支援
- ⑤ユースクラブへの支援
- ⑥ユースコンボケーション参加への支援
- ⑦その他、委員会の認める YMCA サービス活動、ユース活動に資する事業への支援

* 支援金の申請方法を記載します。

- ①この資金からの支援を受けようとするクラブ、部は、資金援助申請書（西日本区 HP 資料庫内・諸届け用紙：様式 NO.101）に所定事項記入の上、部主査、部長を経て事業主任に提出する。
- ②この資金の支援を受けたクラブなどは、当該事業終了後速やかに実施報告書（西日本区 HP 資料庫内・諸届け用紙：様式 No.102）を作成の上、部主査、部長を経て事業主任に提出する。

*** 支援申請に対するご注意を記載します**

- ①資金申請は、事業開催前に申請ください。
 - ②申請書には事業予算及び自クラブ（部）負担額、使途計画を記載してください。
 - ③事業が中止、変更、縮小された場合は、申請時支援金の配布中止又は減額が有ることをご了承ください。
 - ④事業資金予算の支出満額後には申請を打ち切りますので、早めに申請ください。
- * 資金援助の無い Y サ・ユース事業活動報告書（西日本区 HP 資料庫内・諸届け用紙：様式 No.103）もお待ちしております。

皆様のクラブ・部の YMCA との活発な活動を期待します。



今月の聖句

涙と共に種を蒔く人は、喜びの歌と共に刈り入れる。

詩編 126 編 5 節

聖書の小窓

「福音のたね、明日はどこまで」

山口県津和野まで行ってきました。今年も秋桜の花が咲く季節になりました。秋の桜の名前どおり、とても可憐に咲いております。秋桜のことですてきなお話をききました。ある高齢者ホームの庭に秋桜が咲いたそうです。一年がたちました。次の年は風下の隣家の前に咲きました。そして一年がたちました。その年はもっと風下の大きな木の根本に咲きました。そしてまた一年たちました。今年はどこで咲いているでしょう。というお話です。

秋桜の種は風下へと、その命をつないでいきます。今年みた秋桜が、来年は違うところでその花を咲かせる。しかし、命はつながっているのです。このことに励まされました。私たちが撒いている奉仕の種は、必ず風によって運ばれ、その土地で花を咲かせるのです。今日まいたワイズのたね、明日はどこまでいくのやら。

西日本区チャプレン 立野泰博

8月25日～29日にネパールのカトマンズで開催されたAYC2023には西日本区から3人のユースを送ることが出来ました。アジア太平洋地区からコンボケーションに参加された約40名の内、東西日本区全体では16名で東日本区は13名のユースを送っています。

西日本区推薦の3名の若者たちは、一回りも二回りも成長して帰ってきました。参加した彼らが、様々な出会いと感激・驚きを体験して自分自身の方向性を見出し、社交性を身につけ、そのことが彼らの生活や将来に良い影響が有ることを願っています。

以下に3名からの報告を記載します。



【阪和部 和歌山クラブ推薦 石井翔也君】

こんにちは、和歌山 YMCA で、ショーンリーダーという名前で活動させて頂いています、石井翔也と申します。和歌山 YMCA では、わんぱくクラブといって、小学校 1.2 年生を対象に活動をしています。

この度の AYC2023 で、ネパールを訪れた印象としては、ホテルの生活のしやすさに比べ、街中の衛生環境、水周りの不便さ等、日本と比べると生活の質の差の大きさを感じ、カルチャーショックを受けました。また、ネパールにも、夜中に街中で寝ている子供がいたり、ホームレスを多く見かけました。今回プログラムで、ホームレスだった方が集まって暮らしている施設に伺う機会がありましたが、その施設の方々も最低限の生活環境で暮らしており、ネパールの社会保障





の1部ではありますが、現状を垣間見、考えさせられました。

また、今回の AYC では、ユースの人たちとのコミュニケーションを通じて、このような社会の現状に僕達に何か出来ることがないかというのを、具体的に深く考えられるいい機会になりました。また、日本チームとして、・ MOST VIBRANT DELEGATION、・ BIGGEST DELEGATION AWARD、・ BEST PRESENTATION AWARD の3つを受賞することが出来ました。また、個人として・MOST ENERGETIC DELEGATE として表彰して頂きました。

今回のプログラムで経験できたこと、学んだことを友達や仲間といった若者たちを中心に、伝えられたらと思います。



【九州部 熊本西クラブ推薦 中西海斗君】

初海外での AYC は、凄く緊張と不安もありましたが、ワクワクも止まらず期待を持ちネパールへと出国しました。前回 AYC と変わらず、英語は相変わらず全く話せませんでした。テンションとなんとなくの雰囲気交流することができました。初めての海外では、刺激になることが多くありました。現地の方々はとてもフレンドリーで本当に暖かく接してもらい、暖かい気持ちになりました。持ちつ持たれつつ、私も優しくしようと思います。

現地はまだ発展途上国の地で交通整備も環境整備など日本と比べたら、足りない箇所も多く見られました。バイクが横をギリギリで通ることはもちろん、行ける時に行くという日本では考えられない危



ない場所でした。英語での交流が難しい私は自由時間の際、現地の子供たちと一緒にサッカーをしました。私は小学生の頃からサッカーをしているため、一緒にボールを蹴れるのはとても楽しく感じました。「ありがとう」「ナイスプレー」など簡単な単語ですが一緒に楽しくプレー出来たことは一生の思い出になり、ボール 1 つで世界は繋がるということを実感しました。

AYC の活動では、各国混ぜてのグループワークを主に議題の意見交換、現地視察と交流と私たちユースの今、地球に出来ることなど SDGs について考えました。

日本へ帰国し、改めて日本の良さを実感できました。日本の方々も優しいですが、現地の方々も変わらず優しく接してもらいました。どこの国へ行っても道徳は全世界共通なのだと心暖かくなります。今回の海外 AYC から異文化交流など、かなり刺激されました。ネパールだけしか見ていませんが、何か世界の力になれることはないかを考え、今後の活動、人生に今回の経験を生かしていければと思います。

今回の AYC へご支援、後押ししていただいた多くのワイズメンの方々、大変お世話になりました。有意義で刺激的な経験が出来ました。ありがとうございました。



【九州部 熊本ジェーンズクラブ推薦 金丸翔海君】

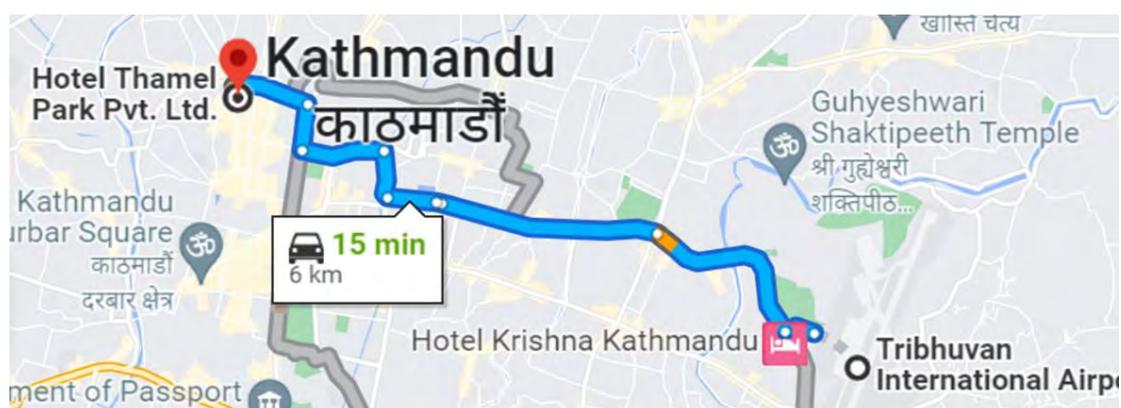
今回 AYC に参加させていただきました、熊本 YMCA 学院ホテル観光科 2 年の金丸翔海と申します。この度はご支援をいただき本当にありがとうございました。

私は今回の AYC に参加して、英語を使ってコミュニケーションを取ることに楽しさと楽しさを感じました。私は普段英語を使って人と話すことがほとんどなくその状況で今回の AYC に参加しました。最初は人に話しかけることができませんでしたが、プログラムを行

い交流を深める中で他の国の参加者にも英語で話すことができるようになりました。話していると完璧な英語で話すのではなく、たとえ間違っていたとしても相手に伝わるように考えて話すことが大切だと気づきました。その後は他の国の人とディスカッションや文化交流で話していると、英語で話すことがとても楽しくなりました。



次回の AYC は熊本で行われるので、それまでに英語をもっと話せるようになり、自分たちがリーダーシップを取ってプログラムを楽しくしたいと思います。今回、貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。この経験を今後活かしていきたいと思っています。





Y's Men International Asia Pacific Area Youth Convocation August 25 - 29, 2023 Kathmandu, Nepal



Ben
Hong Kong



Bliss
Hong Kong



Daniyar
Hong Kong



Edison
Hong Kong



Jasmine
Hong Kong



Kaman
Hong Kong



Leah
Hong Kong



Maddie
Hong Kong



Martin
Hong Kong



Sharon
Hong Kong



Turar
Hong Kong



Aoi
Japan



Chika
Japan



Daito
Japan



Kakeru
Japan



Kaito
Japan



Momoka
Japan



Nao
Japan



Naoki
Japan



Natsuki
Japan



Noritake
Japan



Ope
Japan



Ooha
Japan



Shoga
Japan



Yui
Japan



Yusuke
Japan



Yuya
Japan



Ashika
Nepal



Asmita
Nepal



Saugat
Nepal



Saru
Nepal



Prapurn
Nepal



Cindy
Taiwan



Jessica
Taiwan



Judy
Taiwan



Kiki
Taiwan



Katen
Thailand



Ping
Thailand



Shine Together Grow Stronger

@ysmenyouthofficial

Y's Men International
Youth Group

@ysmeninternational4549



9月2日西日本区部会では1番に九州部部会を開催させていただきました。思い起こせば去年の準備役員会の時から始まっていたのだと気づきました。まず会場探しをホームグラウンドのニュースカイに打診して日程調整を他の部の候補日と照らし合わせて一年前にもかかわらずホテルが空いてない? どうか予約出来たのが9月2日という今年度最初の部会。ひとまず会場と日程が決まり安心していましたが! 部会準備に取り掛かるとまだ数ヶ月ある安心感が、一気に時間不足の段取り不足など不安要素が沢山出てきました。久しぶりにマスクなしでの部会で九州部キャビネットともミーティングしながら笑いあり苦勞ありでどうにか準備できました。

当日九州部部会にご参加いただいた130名の皆様には、ワイズメンズクラブだけでなくYMCA 学生に、他団体でライオンズクラブ、講話者の古民家再生協会、ビジターなどたくさんの人に来て頂きました。ありがとうございました。

九州部部会



部会開会にあたり、シークレットでカラリズムリサさんにアートパフォーマンスをお願いしました。

自分の主題 ~ 今こそ動き出そう 九州部から風を ~ の想いを音楽と共に絵を書いてもらいました。

まずキャンバスに九州が描かれ地球に変わり女性が地球を抱きかかえて、鳥か羽ばたいている絵が出来ました。最後にワイズメンズクラブと、九州部部会の42の文字が入り完成しました。素晴らしい絵です。仕上がりにはツーショットで写真撮らせてもらいました、宝になりました。

バナーセレモニーで部会をスタート！九州部バナーを手にとり、ルパン三世の曲で入場。九州部各会長が堂々の入場により壇上に登り熱い握手、九州部15クラブですが今回は14クラブの参加でした。第一部式典では来賓挨拶に続き九州部から二人のユースがAYC活動報告を緊張しながらパワーポイントで発表してもらいました。アジアユースの中で3つの素晴らしい賞をもらったらしく、二人で想いを語ってくれました。今後は各クラブやら、いろんな所で報告すると聞いてます。ワイズメンズクラブに関わって今回の貴重な体験は彼らの人生の宝になる事でしょう。若手育成という意味で足長オジサン的存在のワイズメンズクラブはとても良いと思います。

第二部式典では、古民家再生協会熊本支部代表理事の村田智仁さんにより、「日本の古民家から学ぶ循環型建築社会」の講話をお願いしました。YMCAの建築科の学生も参加してました。田舎よりも都会のほうがどんどん空き家物件が増え問題になっているとのこと、今後の日本の建築が新築よりもリノベーションが主流になり古民家をどう残していくのかと、興味深く皆さん聞いてもらいとてもいい講話でした。

懇親会ではまず鹿児島YMCAチアダンスチームのCast Magic Faith 世界準優勝のダンスのお披露目により会場が盛り上がり全員で一緒に踊りました。そして九州部キャビネットはルパン三世一味、サザエさんファミリーに仮装しました。九州部担当主事吉田美華さん（ワカメちゃん）の食前感謝、そして次期九州部部長大崎ワイズ（波平さん）による乾杯でスタートしました。今期のキャビネットみんなで仮装を楽しみ、会場を一つにできたと思います。部会前日のゴルフコンペ表彰にアピールタイムが終り、最後に三曲の歌で締めました。最高の部会でした。

部会に参加いただきました多くの皆さんに感謝申し上げます。



阪和部部会

2023年9月9日(土)和歌山YMCAに於いて第35回阪和部部会が開催されました、当日は阪和部以外からも多くお足をお運びいただき総勢94名の方にご参加いただきました。

まず、YMCA スタッフのピアノ演奏と共に4年ぶりに部会でバナーセレモニーが執り行われ阪和部7クラブのバナーが勢ぞろいしました。そして部長挨拶では緊張で頭の中が真っ白になるハプニングもあったりしながら何とか終え、深谷理事の暖かなご挨拶もいただき大阪・奈良・和歌山の各YMCA 報告や各事業主任の方々からの事業報告が行われました。中でもYサ・ユース事業報告では、AYCに和歌山から参加されたユースリーダーの石井翔也さん(ショーリーダー)の活動報告には参加者の皆さまも微笑ましく耳を傾けられる姿が印象的でした。



理事ご挨拶



第35回 阪和部 部会

2023年9月9日(土) 和歌山YMCA 6階ホール
内藤部長主題:「継承そして新たなる創造〜次の100年の礎を」



AYC活動報告



講演・山崎 浩敬 氏

そして、第1部が終了となり昼食の時間です。ここでは私の所属する和歌山クラブの西廣ワイズが経営される「ちひろ」のお弁当が提供されご参加いただいた方々からは大変高評価をいただきました。

そして、第2部は記念講演 山崎浩敬(やまさき ひろたか)氏の「あたたかい小さな手のリレー」網膜色素変性症を発症され全盲となられてからも、地元の小学生のサポートもあり定年まで勤務することが出来た絵本【バスがきましたよ】の原作にもなっている、感動のお話をご講演いただきました。山崎氏が限られた時間の中でサポートしてくれた小学生に込めた感謝の気持ちそして持ち前の明るさでユーモアを交えた講演は、中には涙を流されるワイズもおり大盛況で講演が終了しました。

最後に、各アピールタイムを経て閉会となったのですが、入会歴の浅い方からは「ワイズの方はアピールタイムが大好きですねー」との言葉が印象に残っています(笑)

第1部と第2部を合わせても3時間の非常にコンパクトな阪和部部会でしたが、ワイズの皆様や和歌山 YMCA のご協力により非常にアットホームな内容の濃い3時間となった第35回阪和部部会でした

阪和部部長 内藤 陽介

京都部部会

「仲間を増やそう make more friends」の先には？





まず最初に、9月17日曜日に行われました京都部部会に、お忙しいところ多数の「仲間」にお集まりいただきまして心より感謝いたします。ありがとうございました。例年同様3部構成で開催いたしましたが、1部式典に関しては当然のごとくサプライズもなく、淡々と進めさせていただきました。

2部の会長による大討論会は、現在の各クラブの状況や考え方等が大変よく表されており、しかも会長個々の意見や今期にかける思いも伝わってきたように思いました。これからも各クラブの個性を最大限に発揮し、それぞれがより大きな成果を上げていっていただくことを期待いたしております。

3部懇親会におきましては、当然参加いただいたメンバーの期待に最大限にこたえられるよう「祭り」のような雰囲気で行いたかったものですから、あのような開催になりました。ご意見・ご批判等多数あるかと思いますが、ワイズメンの友情によりご理解いただきたいと存じます。

今期が始まりまして早3ヵ月が経過しました。その間京都部には15名の「仲間」が増えました。やはりクラブ活動をするにあたり、活動資金だけではなくマンパワーや様々な意見・思いが必要です。そのために「仲間」を増やすんです。これからも皆さんのご協力のもと頑張ろう、と思わせてくれる部会でありました。

PS 不肖 最後に私武村の恥ずかしい一面を晒してしまいました事、この場をお借りしてお詫びいたします。申し訳ありませんでした

京都部部长 武村 松一

部会予定

2023～2024年度 各部部会の開催日程です。



ホストクラブの大阪センテニアルクラブ
より
チラシが届きました。

中西部

2023年10月9日（月・祝）

会場：大阪 大阪YMCA

ホスト：大阪センテニアルクラブ

ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区 中西部部会

大阪 YMCA 2F ホール
2023年10月9日
(月・祝日)

14時～16時30分
登録費 5,000円

登録連絡先
中西部書記 牟まで
メール a20bc99e@yahoo.co.jp
FAX:06-7897-3337

1部 バナーセレモニー、主査活動報告
関西いのちの電話
題目 『50年に渉る寄り添いの心』
関西いのちの電話は今年9月で活動開始50年を迎えられます。

2部 佐野多由子さんによる音楽
『喜びの気持ちを持って音楽を楽しもう!』

**あいつも
ありがとう**



ホストクラブの長浜クラブより
チラシが届きました。

びわこ部

2023年10月21日（土）

会場：長浜 北ビワコホテルグラツィエ

ホスト：長浜クラブ

第28回
びわこ部部会
～兼え!びわこ源流の地ながはまへ～
2023年10月21日(土)
受付 14:00～ 開始 15:00～

第一部 式典
会場：セミナー&カルチャーセンター臨海

第二部 スペシャルセミナー
「災害支援から学ぶボランティアの真髄」
会場：セミナー&カルチャーセンター臨海

第三部（懇親会）
会場：北びわこホテルグラツィエ

まっすらようこ サポートライブ
滋賀県大津市在住
シンガーソングライター
『嵐の嵐』
『一度聞いたらやみつきボイス』
松浦 陽子

登録費 11,000円

NGO団体「アジア子どもの夢」 国際緊急援助隊 医療調査員
代表 川崎 映子（とやまクラブ） 小田 晋也（福岡中央クラブ）

ホストクラブ 長浜ワイズメンズクラブ

部会予定

ホストクラブの呉クラブより
チラシが届きました。

西中国部

2023年11月4日 (土)

会場：呉 呉ポートピア
ホスト：呉クラブ



ワイズメンズクラブ国際協会

第22回 西中国部部会

2023年11月4日(土)

- 受付 12:00~
- 部会 12:30~14:00
(シンボルルーム2F多目的ホール)
「語り継ぐ被爆の実相と平和への思い」
被爆体験伝承者(健健二世)呉クラブメンバー
山口 恵司氏講演会
- 懇親会 14:15~16:30(屋外テラス)

会場 呉ポートピアパーク
〒737-0875 呉市天応大浜3丁目2-3

会費 8,000円



被爆体験伝承者

山口 恵司氏

1951年(昭和26年)広島県江田島市生まれ。被爆の実相や被爆者の生活をもとに多くの人に正しく伝えることを心掛け、今までに定時講演47回(広島平和記念堂等開催)、定時講演63回(広島市、大浜市、長野県、福島県、東京都、秋田県ほか)を行っています。

【講話の内容】

- 1 なぜ広島に原爆が落とされたのか?
- 2 その被爆の様子と子供たちの生活について
- 3 当時18才だった私の父が見た、9月9日の広島島の様子。

毎日新聞



ホストクラブ/呉クラブ

新入会員

新しい仲間をご紹介します。

岡山クラブ

難波 健 (なんば けん)
坪倉 英夫 (つぼくら ひでお)

入会式: 2023年9月19日

神戸ポートクラブ

モハマドプール ヤークーブ

入会式: 2023年9月27日

京都トップスクラブ

新井 貴文 (あらいたかふみ)

入会式: 2023年9月13日

京都パレスクラブ

池田 亮太 (いけだりょうた)
安田 光一 (やすだ こういち)
西村 京子 (にしむら きょうこ)
溝渕 卓也 (みぞぶち たくや)

入会式: 2023年9月27日

神戸クラブ

井出 富光子 (いで ふみこ)
森 愛子 (もり あいこ)
中道 京子 (なかみち きょうこ)
尾崎 美千代 (おざきみちよ)

入会式: 2023年10月10日

周年記念例会予定

第二報

40

京都キャピタルワイズメンズクラブ
40周年記念例会

日時 2023年11月3日(金・祝)
場所 ウェスティン都ホテル京都 TEL075-771-7111
京都市東山区三条線上
地下鉄東西線「線上駅」下車すぐ

プログラム 受付 16:30
開演 17:00
第一部: 記念式典 17:00~
第二部: 記念ライブ 18:00~
第三部: 懇親会 18:40~
閉会 20:30

登録費 12,000円(メン、メネット、ゲストとも)
登録方法 クラブ単位でお願いします。
詳しくは HP (<http://capital-ys.sakura.ne.jp/member/>) をご覧ください



京都キャピタルワイズメンズクラブ



40周年記念例会

京都 **め** いぶる

テーマ: 繋ごう 未来へ向けて

開催日: 2024年3月23日(土)
時間: 16時00分~19時00分(登録開始: 15時00分)
場所: ウェスティン都ホテル京都 瑞穂の間
登録費: 12,000円



京都トップスワイズメンズクラブ

30周年 記念例会

*Memorial
regular meeting*

**The Y's Men's Club of
Kyoto Tops**

2024.4.20 Sat.
17:00~20:30

ウェスティン都ホテル京都

《お問い合わせ・返信連絡先》
京都トップスクラブ 倉 卓也
メールアドレス: tops19942024@gmail.com





**Y's Menettes International
Project Coordinator 2018- 2023**

Joy McNamara
3096 Point Nepean Road,
Sorrento, Victoria,
joy.mcnamara@tw-c.com.au

**2nd August 2023 Y's Menettes International Project for 2022 - 2024
Kathmandu, Nepal – Educational and Vocational Training**

I wish to thank those clubs who have donated to the International Y's Menettes Project Fund in the last financial year. Donations received have been less this last financial year, so I ask that all clubs please remember our International Project when deciding on your donations. Thank you to those clubs and individuals that deposited funds into our account in memory of our late Shirley Unmack. Shirley was a devoted Y's Menette in all areas – her club Bendigo, Australia, where she held all positions, then in both Regional and International. Her knowledge of the whole movement was amazing! Not long ago I was asked to help write a report on a past project the Y's Menettes had undertaken. The project was undertaken in 1994 –1996 and was The Street Children's Program, Mitchell's Plain YMCA, South Africa. The Project Co-ordinator was Shirley so I know she would be very happy to see that her memory was honoured with donations to the International Project Fund.

We are currently very successfully helping many children to gain a good education which will then allow those children to be able to help others in their communities.

Eva Holmberg-Tedert the Project Coordinator of our project has given me the stories of some more of the girls we are helping.



Binu Maya Lungba (left) and Anisha Theeng (right)

Binu grew up in our girl's home Child Help and Care Centre, in Gokarna, Kathmandu. She was seven, and at the same time, her younger sister Renuka also moved into our orphanage—a calm and disciplined girl, always eager to do her best. In my opinion, she could complete the education as a dentist directly, but she decided not to as in Nepal, a

relatively new profession, dental hygienist was available. She is studying in grade 12 out of 13 to become a dental hygienist and says that after some years of work and savings, she might go to a higher level and become a dentist.

Anisha was barely six when she came to our girl's home. Our first documentation was that both parents were dead, but later, we found out that there was a living mother who, unfortunately, had dumped the girl when her husband passed away. As a result, Anisha has suffered significantly from insecurity and anger but has done well at school. Now she is in grade 12 and dreaming of a future as an accountant.

By reading the stories of these brave girls we can understand the difference we are making.

Ys'ly,
Joy

Y's Menettes International Project for 2022 - 2024 Kathmandu, Nepal - Educational and Vocational Training (メネット国際プロジェクト 2022-24ネパール カトマンズ 職業教育トレーニング)

昨年度、インターナショナル・ワイズ・メネット・プロジェクト基金にご寄付を頂いたクラブに感謝申し上げます。昨年度は寄付金が少なかったため、各クラブは寄付を決定する際に国際 Y's メネット・プロジェクトを思い出して下さい。

故シャーリー・ウンマックさんを偲び、私たちの口座にご寄付をくださったクラブや個人の皆様、ありがとうございました。

シャーリーは所属クラブであるオーストラリアのベンディゴで全ての役職を歴任し、あらゆる分野で献身的なワイズメネットでした、

区と国際の両方で活躍しました。彼女のムーブメント全体の知識は素晴らしいものでした！少し前、私はワイズメネットが過去に行ったプロジェクトの報告書を書く手伝いを頼まれました。

1994年から1996年にかけて行われたもので、南アフリカの Mitchell's Plain YMCA のストリートチルドレン・プログラムでした。

プロジェクト・コーディネーターはシャーリーだったので、彼女の思い出が YMCA に寄付されることをとても喜んでいると思います。国際プロジェクト基金への寄付は、彼女の思い出を称えるものです。

私たちは現在、多くの子供たちが良い教育を受けられるように支援しています。

今回の私たちのプロジェクトのプロジェクト・コーディネーターであるエヴァ・ホルムベルク＝テダートから、私たちが支援している少女たちの話を聞きました。

ビヌ・マヤ・ルンバ（左）とアニーシャ・テエン（右）

ビヌは、ゴカルナにある私たちの少女の家チャイルド・ヘルプ・アンド・ケア・センターで育ちました。彼女は7歳だったときに妹のレヌカとともに孤児院に移ってきた。

規律正しく、いつもベストを尽くそうとする少女でした。私の考えでは

彼女はそのまま歯科医としての教育を受けることができました。けれどそれはあきらめてネパールでは比較的新しい職業である歯科衛生士を目指しています。

歯科衛生士になるために13年生中12年生で勉強しています。

今後 お金をためて上を目指し歯科医になることも考えています。



メネット国際プロジェクト2022-2024

メネット国際プロジェクト献金のお願いです。以前、部長様に配信し各クラブメネット会長・連絡員に届いていると思います。前期も国際プロジェクトに多くのクラブから献金をいただき感謝申し上げます。今期も皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

献金送金は西日本区指定の払込取扱票(ゆうちょ銀行)にてお振込み下さい。

メネット委員会代表 吉本 典子

